

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
下 正晴

商品だけでなく価値を届ける生活用品の伝道師

株式会社丸金は「安心・安全・迅速」を信条に、生活必需品を通じて人々の暮らしを支えてまいりました。100億円企業への挑戦では、売上の拡大だけを目的とせず、AI・DXによる生産性向上と物流・ECの革新を進め、その成果を「人の幸せ」へ還元する経営を目指します。将来は持株会社体制のもと、シルバー世代が活躍できる実店舗・地域拠点を設け、土日祝のEC業務を支える新しい雇用の仕組みを構築します。そして現役社員には週休3日制を目指すなど、世代を超えて誰もが誇りと生きがいを持って働ける会社を実現します。100億円はゴールではありません。お客様・取引先・従業員・地域社会と共に成長し、「人が幸せになる次世代の流通モデル」を創り、社会へ広げていくための通過点です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は2045年に売上高100億円を達成することを目指します。既存の卸売事業を基盤に、EC事業の拡大、AI・DXを活用した物流の高度化、物流受託・3PL事業、海外BtoB事業など新たな収益の柱を育成します。また、2030年を目安に持株会社体制への移行を進め、シルバー世代が活躍する実店舗・地域拠点を構築。AIによる生産性向上と土日祝のEC業務分担により、将来的には社員の週休3日制を目指します。

課題

100億円への成長には、EC拡大に伴う物流処理能力の確保、人手不足、業務の属人化、在庫最適化、収益性の向上が課題です。さらに、持株会社化や新規事業を担う人材の育成、シルバー世代が安心して働ける業務・教育環境の整備、土日祝の業務移管など、新しい組織・働き方への転換が必要です。これらをAI・DX、省力化設備、業務標準化によって解決し、社員の負担を増やすことなく成長できる経営基盤を構築します。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

既存の卸売事業を基盤に、EC・物流・海外の3分野を成長の柱とします。AI・DXと物流設備への投資により生産性を高め、EC専門店の展開、物流受託・3PL、海外BtoBを新たな収益源として育成します。さらに、シルバー世代が活躍する実店舗・地域拠点を設け、土日祝のEC業務を担う新たな運営モデルを構築。成長と働き方改革を両立し、売上高100億円を目指します。

実施体制

経営者を中心とした全社横断のプロジェクト体制を構築し、EC・物流・IT・海外の各部門が連携して成長戦略を推進します。2030年を目安に持株会社体制への移行を進め、卸売・EC・物流・シルバー・海外の各事業の責任と収益を明確化。AI・DXについては外部専門企業とも連携し、段階的に事業領域を拡大します。



本社・2階総合受付

- 本社所在地：大阪府東大阪市金物町5番13号（金物団地内）
- 事業概要：卸売業（生活雑貨など）
- 常時使用する従業員：71名
（2026年6月時点）
- 現在の売上高：53億円
（2025年8月期）
- 法人番号：3122001007471
- Web：<https://maru-kin.net/>

売上高100億円実現の目標と課題

■ 2045年 売上高100億円への成長

当社は、既存の卸売事業を経営基盤として、EC・物流・海外事業を新たな成長の柱に育成し、2045年に売上高100億円の達成を目指します。そのため、物流センターの高度化、WMS・自動搬送設備・AI需要予測などの物流DXを進めるとともに、EC専門店の拡大、物流受託・3PL、海外BtoBなど収益源の多角化を推進します。

■ 人手不足と物流能力への対応

売上拡大に伴い、物流処理能力の不足、人手不足、業務の属人化、在庫最適化が大きな課題となります。AI・DXと省力化設備への投資により、入出庫・検品・梱包・在庫管理を効率化・標準化し、社員の負担を増やすことなく、100億円の売上を支えられる物流基盤を構築します。

■ 持株会社化と新しい働き方への挑戦

2030年を目安に持株会社体制への移行を進め、卸売・EC・物流・シルバー・海外の各事業の責任と収益を明確化します。さらに、シルバー世代が活躍する実店舗・地域拠点を設け、土日祝のEC受注・顧客対応等を担う新しい運営モデルを構築します。AIによる生産性向上と業務分担を進め、将来的には社員の週休3日制を目指します。

■ 100億円の先に目指すもの

100億円への成長を、単なる規模拡大ではなく、社員の働き方改善、シルバー世代の雇用創出、地域社会への貢献につなげます。「成長するほど、人が幸せになる企業」を実現し、丸金独自の次世代流通モデルの確立を目指します。

